

農務課
農務

命も受けてゐる譯でありますから、此の點瞭解なきやう希望致します。

木炭は増産されたが包装用の繩がない。金屬は立派に回収されたが、吹かない。これをどうするか、色々々當面の問題が所々に起つて居ります。而も一部地方では、之等所要の農工品が滞り困るやうな苦情が出てゐる。當業者の中には、奇異の感といふよりも、統制の欠陥でも申されてゐることは遺憾に存じて居ります。國としては農工品については、遙かに重要な使途がありまして、それが何時でも大量に輸出を指令して来るかといふ事を考慮に入れた置かねばならず、又其の内月十五日までの二ヶ月間を特定させることに致します。

二百七十億貯蓄總進軍記念懸賞募集
「内職、副業の實例」入選発表

- 一等 貯蓄債券 拾五圓券 三枚
「和服裁縫と財布の細工」
磯城郡桑田村大字大寺 畑井 かい
- 二等 貯蓄債券 拾五圓券 一枚
「戦車修理」
奈良市葛田町破石 米田 千代
- 三等 貯蓄債券 七圓五拾錢券 一枚
「水筒の紙の環付け」
高市郡高取町清水谷 脇田 健一郎
- 「炭俵類の製造」
山邊郡福住村大字下山田 谷平 四郎
- 「養蠶」
宇陀郡大字院町上新入 木ミキ
- 「消毒袋入れ」
吉野郡大淀町下瀬 西浦 豊治
- 「製繩」
宇智郡牧野村北山 窪田 健一郎
- 「戦車修理」
奈良市葛田町破石 米田 千代
- 「水筒の紙の環付け」
高市郡高取町清水谷 脇田 健一郎
- 「炭俵類の製造」
山邊郡福住村大字下山田 谷平 四郎
- 「養蠶」
宇陀郡大字院町上新入 木ミキ
- 「消毒袋入れ」
吉野郡大淀町下瀬 西浦 豊治
- 「製繩」
宇智郡牧野村北山 窪田 健一郎

ひまの種子は斯うして集めませう

ひまの種子は下の方から上へだん／＼に成熟しますから、熟した種子から採集して下さい。皆さんの種子は、次のやうに集められます。

第一回 八月下旬
第二回 九月下旬

第三回 十月下旬
第四回 十一月下旬

集め方は、大日本婦人會員が取り纏めた上部落會、町内會、壯年會を通じて、市町村農會に蒐集します。

地方課

（問）私の町内會常會は二ヶ月も開かずなつてゐますがあれでもよいのですか。
（答）部落會や町内會の常會は毎月一回は必ず開くのが本體です。若し二回も開かずにしてあれば會長に理由を質し必ず毎月開くやうに請求して下さい。

（問）私の町内會では（答）たゞひ借金が千圓出来てもそれに相當する田地を買つて年々それから益が上れば一寸も心配ないのと同じで日本は大東亞共榮園内で量り知れぬ大きな財産を持つことになつていくから國債が積まれて大丈夫です御心配なくごし／＼お買ひなさい。

組隣の和の大



北葛城郡普賢町普野町内會第二〇隣組共同炊事實況

みよ
八枚爲字の大御旗は鎌三
して輝き新時代の喇叭は
高らかに鳴る
翼くは
戦ひの一波一瀾に迷はず
悠久なる眼を開いて
すめらみくにの行く手を
展望せよ



一、決戦下の食糧戦に勝ち抜かう

未曾有の廣い戦域を舞臺とする大決戦です。戦力の増強のために船は絶対の要件です。この苛烈な決戦のとき、外米を運ぶために大事な船を使つてはなりません。食糧は國內で自給出来るやうにせねばならぬ時です。また今年の麦は相當の減收です。この緊迫した食糧事情をしつかり認識して、一大決意をもつて國を挙げて食糧戦に必ず勝ち抜きませう。

- (一)食糧増産に邁進しよう
1、出来るだけ早く秋うんかなきの害虫を發見し、共同で徹底的に驅除を行ひ米の増産に努めること。
2、麥の増産に出来るだけ作付面積の擴張を圖ること。
3、擧國草刈運動の刈取目標を達成する月です。是が非でも目標を突破して飼料や肥料の増産に努めること。

(二)決戦食生活を實踐しよう

- 1、この秋は主食として麥、小麦粉、干うんかなどを初め、じやがいも、さつまいも、豆類等の配給が一層強化されますから食方なを一段工夫すること。
2、米のみに頼らず混食や郷土食の實行につとめること。

二、二百七十億貯蓄攻略に邁進しよう

- 米英撃滅の氣魄をこめてこの目標に總突撃を敢行しませう。
1、例年この月は貯蓄の成績が落ちがちです。この際一層戦争生活に徹し消費を節約し、持つてゐる物の活用や修繕を工夫し貯蓄財源の生み出しにつとめること。
2、今月は郵便貯金の強調運動が行はれます。便利な定額貯金、積立貯金の増加に努めること。

地方制度の改正と町内會部落會

今日の市町村といふものは、明治以来の歴史しか持つてゐないのに對して、部落の方は千年を意味し、その活動上の不便を數千年の長い歴史を持つてゐる。明治初年までは、今日の大字が自然村落、又政治村落として、全體として税金も納めれば、財産も持つてゐたのである。所が新興日本の發展のための一つの準備として作られた明治二十一年の市町村制は、一面では近代國家としての體制を整へる上に役立つものではあるが、反面では日本の村の傳統を取り入れる點に遺憾の點があり、幾多の波瀾を生んだのであり、又當時行はれた町村合併、部落有林野の統一、或は兵隊の合併も、新村制を強化するための工作と見てよいのであるが、これ亦内面的にはさう簡単な問題ではなく、精神的な、又物質的な部落民結合の紐帯を解體させるものであつた。

- ①市町村長は町内會部落會及其の聯合會の財産及經營の管理に關し必要な措置を講ずることが出来る。
②市町村長は町内會部落會及び町内會部落會及其の聯合會は自己の名を以て財産を所有することが出来る。
③市町村長は町内會部落會及町内會部落會の活動に伴ふ財産の管理を適正にする方法である。

- ④市町村長は町内會部落會及其の聯合會の長をして其の事務の一部を授けさせることが出来る。
⑤町内會部落會は國民組織でもあるが、他面市町村の下部組織でもあるからである。大體以上の如くであるが、これは始めにも述べた通り、



鬼畜米英！ 知つたか和魂

勝ちぬく誓
みたみわれ 大君にすべてを捧げまつらん
みたみわれ すめらみくにを護りぬかん
みたみわれ 力のかぎり働きぬかん
みたみわれ 正しく明るく生きぬかん
みたみわれ この大みいくさに勝ちぬかん

- 「勝ちぬく誓」ノ唱和ノ仕方
一、發聲者ガマツ「勝ちぬく誓」トイヒ、會衆ハ同ジク「勝ちぬく誓」ト繰り返ヘスコト
二、ツギニ發聲者ガ第一節ノ第一句ヲみれわれ下唱ヘ、ソコテ句切り、會衆ハ同ジク「みれわれ下唱」ガ、更ニ第二句ニ移ツテ「大君(おほきみ)にすべてを捧げまつらん」ト一息ニ唱ヘ、會衆モソノ通り繰り返セルコト
三、第二節以下同様に「みたみわれ」テ句切り、唱ヘルコト
四、最後「この大みいくさ」トイフトコロハ、特ニハツキリ唱ヘルヤウ氣ツケルコト

綱領

- 一、我等ハ天祖ノ宏願ヲ奉ジ、心ヲ一ニシテ邁進シ、身ヲ滿洲建國ノ聖業ニ捧ゲ、神明ニ誓ツテ、天皇陛下ノ大御心ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス。
(募集要領詳細は市町村長、國民學校校長宛御照會下さい)

幹部六名出揃ふ

滿蒙开拓青少年義勇軍奈良縣中隊第三〇〇人募集の最も中心である中隊長、教養、教練、庶務、農事各指導員は何れも出揃ひ、近く茨城縣幹部訓練所に入所するのである。

少隊本部出身

全國各府縣でもこの幹部募集は餘程遅れるのですが、本縣はこれ各府縣に駆けて確保しました。この上は隊員三〇〇人の募集は皆様の御協力を希望します。

滿蒙开拓青少年義勇軍奈良縣中隊編成送出運動に際し、隣組各位に望む

地方課長 所 秀 雄
ねばならぬ滿洲國指導建設の役目のあることを、そして、滿蒙开拓青少年義勇軍こそ、この蒙たる大使命を奉ずるもの、外ならないのです。至高至純、愛國の熱情もえて、滿洲の天地に勤をなすひつゝある姿は、本營に感激そのものであります。今こそ、われわれは、義勇軍が士の戰士として、北方磐石の守

のみならず、大東亞戦争を勝利に任ずると同時に食糧増産に誓いたいと思ひます。
ち振くためには、食糧の自給を力強い歩みを示しつゝある事實を必要があり、而も、滿洲國を奮起せよと思ひます。
日滿兩國政府は、この开拓國の東亞における食糧基地としての重要性は逐年増大し、同國の食糧増産なくしては東亞の食糧自給計畫は成り立たない事情にあるのです。
こゝに於て私は思ふ、華々しい戦果の隆に、黙々として果敢に闘果の隆に、黙々として果敢に闘

八月十五日から大和隣組連軍が、全縣下に展開されてゐるが運動項目の一つに、常會開會時間、定時斷行運動が挙げられてゐる。
帝國海軍に「起床五分前」「作業始め五分前」といふ言葉がある。決戦下の常會も、「開會五分前」の合圖で凡ての準備を完了し、時計が定時を報する同時に「ではこれから始めます」といふ風な、チキキとした愉快な常會を、全縣下に行政せやうとするのが、この運動項目である。
隣組連軍運動、この連動項の一つであるが、隣組はもとより一家で親類同志であるが、更に進んで隣組と隣組とが親類にならうといふのである。
縣下のある部落會では十六の隣組が、農地帯の隣組と非農地帯の隣組と、二つづつ、互に組合つて八つの隣組親類を取結び、努力や物資の上で、共助共勵の實を擧げてゐる。この仕掛けを押し廣げて、市街地の町内會なり隣組が、農村の部落會なり隣組とのお互親類となつて、相交互助をやらうとするのがこの隣組親類運動である。
さる七月開かれた中央社會議の委員會の席上で東條さんは 次のやうなお話をして居られる。
「これは私が二三週間に體驗した小さな問題であります。日曜日の朝、田舎道を散歩してゐます。お百姓さんの畑の一角に野菜を積みあげて置かれ、つてある肥料にでもする考であることは、聞かなくて列る。そこで私肥料に丹念に選り分けてみる。リヤガリに二臺の畝へお百姓さんを選び分けてみる。これはお互に温ひ氣持が違はないからだ。お百姓さんここに種を作つた木切れがあるから持つて行つて今晚の御飯たきにせよ。お百姓さん、お互に氣持が違つてゐる。凡ての無駄が除かれてゆく筈である。東條さんはこんな話に話されたやうである。

大和隣組進軍

お百姓さん、お互に氣持が違つてゐる。凡ての無駄が除かれてゆく筈である。東條さんはこんな話に話されたやうである。